【NEWS RELEASE】

2026 年 10 月 22 日

各　　位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
株式会社ＳＭＢＣ信託銀行

SMBC グループの個人外貨預金残高、合計 3 兆円に到達

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO（代表取締役）：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）、および株式会社ＳＭＢＣ信託銀行（代表取締役社長：萩原 攻太郎、以下、「ＳＭＢＣ信託銀行」）は、個人のお客さまからお預かりしている外貨預金残高が合計 3 兆円（2026 年 9 月末時点）に到達したことをお知らせします。

昨今、円安の進行、物価上昇等を背景とした資産防衛・資産形成の意識は急速に高まっています。また、コロナ禍以降、海外旅行・海外出張・留学を目的とした日本人出国者数は徐々に回復し、外貨での決済も増加傾向にあります。
SMBC グループでは、外貨を「資産運用・資産価値の安定化・決済などの多様なニーズにお応えする資産」と位置づけ、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう努めております。2023 年 9 月に、メガバンクとして唯一、個人顧客向けの外貨定期預金（米ドル）の標準金利引上げ、2025 年 11 月に外貨預入時の為替手数料の無料化、2026 年 1 月にはポイントが貯まるクレジットカード決済で外貨積立が出来る「外貨クレカ積立」※1 を導入する等、グループ一体で商品・サービスの改善を図って参りました。今回、個人のお客さまからお預かりしている外貨預金残高が 3 兆円に到達し、国内でのシェアは 35％超※2 を有しています。

特に、外貨預金関連サービスや外国籍のお客さまに強みを有するＳＭＢＣ信託銀行は、1.6 兆円を超える残高をお預かりしており、2026 年 3 月末時点の調査では、5 年連続で邦銀 No.1※3 の個人外貨預金残高となっております。ＳＭＢＣ信託銀行では、全 17 通貨の外貨預金を取り扱うとともに、外貨を貯めるだけでなく、そのまま海外での買い物や海外 ATM で現地通貨の現金引き出しが可能な Visa デビット付きキャッシュカード「GLOBAL PASS（グローバルパス）」をはじめ、外貨を多様な場面で活用いただけます。

SMBC グループは、今後も、グループ各社の専門性を結集した共通ブランド「SMBC Wealth」のもと、グループ一体で商品・サービスのさらなる充実と利便性の向上に取り組んでまいります。

（※1）外貨クレカ積立は三井住友銀行にて取り扱う商品

（※2）日本銀行「資金循環統計」：2026 年 6 月末時点の個人金融資産における外貨預金残高 7.7 兆円
（同時点の SMBC グループの残高は約 2.8 兆円）

（※3）各行の IR 資料等を基に SMBC グループにて調査

以　上